

テーマや内容、自由に決めて 第20期生「卒業制作」本格スタート



入荷した材料を全員で確認中（「中門」）

共通質問項目

- ①仮タイトル、②メンバー、
- ③制作物の概要
- ④どんな思いを込めて作るのか？
- ⑤困っていること、今後の課題

図面から作製へ

- ①「中門」
- ②加瀬彰一、中村一騎、芳賀利也、松原正紘
- ③柱を磨き丸太、戸を開き戸にして建具の納まりを含めた中門
- ④過去の卒制にひけを取らないような作品を目指す。
- ⑤丸太の心墨の出し方、及び、墨付け。

- ①「待合所」
- ②高橋和真、高村一帆、水村竜也、中尾太郎、浅野翔
- ③五角形の待合所
- ④五角形の屋根をやったことがないから勉強したい。
- ⑤屋根の図面の書き方
- ①「自分だけの」ひとりの空間／空間についての考察
- ②高野展昌
- ③自分だけのひとりの空間を感じられる椅子の制作
- ④設計について強い関心があり、「設計」空間をつくること、と思っているので、良い空間がつかれるように頑張っていきたいと思います。
- ⑤一人で制作しているので、計画、設計、施工、段取り

建築カレッジにも美術系や建築系の大学と同じように「卒業制作」があります。来年2月中旬開催の卒制発表会に向けて、第20期生（2年生）の作業が本格化していきます。各グループにテーマと今後の課題を聞きました。

カレッジ通信

発行
東京建築
カレッジ

授業見学
お気軽に！
事前に、
ご連絡を！

TEL
03-5950-1771

2017年度・第22期入学生 第2回募集

（2017年4月入学）

今回は説明会も試験も日曜日です！

学校説明会 10月16日（日）
午後2時から・午後7時から
応募締切 10月26日（水）
試験日 10月30日（日）
結果発表 11月2日（水）

会場は池袋校舎
入学願書のご請求は
お早めに！

- ①「お社」
- ②内田聡弥、竹内佑典、渡邊健治、小塩圭吾、長井駿
- ③小型のお社（やしろ）
- ④現場ではできないことをやりたい。いつかお社を作る仕事になりたい。
- ⑤現寸図が進まない。
- ①「子供たちが笑顔で遊べる無垢の材による滑り台」
- ②中山健太、石川雄一朗、稲葉欣央、小林陸仁、寺木一真
- ③学童施設へ寄付するための遊具（滑り台）
- ④2面へ



2年生（第20期生）は、実技実習が「四方転び踏み台（脚立）」に入りま

2年生の授業から

した（10月14日まで）。10月22日からは「技能照査」の課題でもある「樺隅木」が始まります。

一方、並行して「建築性能計画演習B」では、各自が設計したプランで100分の1、50分の1の模型を作らせています（上写真）。複雑な設計の立体化に挑戦する子も。

さらに、建築測量、積算、CADの授業も実施。密度の濃い総合的な学習が進んでいます。



実技は10月1・8日に実習棟の「解体実習」、板図・伏図の授業を経て、10月中旬からいよいよ伝統構法も学べる「実習棟実習」の開始。建方は1月20・21日を予定。

1年生の授業から

左写真は、9月23日に実施した「建築情報管理」第1回目の授業、パソコン操作の入門編の様子です。「普段まったく使わ

ない」、「スマホばかりでパソコンは苦手」という子もいるので、「ワード」の初歩の初歩から丁寧に授業を進めました。クラスメイト同士教えあう姿も見られました。10月からはCAD（コンピュータ支援設計）の使い方を一から手ほどきします。

第54回 技能五輪全国大会 (10月21日～24日) 出場！

青年技能者（満23歳以下）の技能レベルの日本一を競う技能競技大会の「建築大工」職種に、カレッジ18期生の浅見拳太さん（22歳）、20期生（現在2年生）の高野成己さん（20歳）が出場します。みなさん、応援をお願いします！

厚生労働省、中央職業能力開発協会が主催する「技能五輪全国大会」は、青年対象の技能競技大会では、全建連「全国青年技能競技大会」に並ぶ最高峰の大会です。

第46回大会（2008年）で氏平達也さん（11期生）、第52回大会（2014年）で水越優太さん（17期生）がそれぞれ受賞した銀賞が、これまでのカレッジ生の最高の到達でした。



がんばれ！浅見拳太さん、高野成己さん



浅見さんは昨年の第53回技能五輪全国大会で初出場ながら敢闘賞を受賞しました。今年「金を狙う」と静かな闘志を燃やしています。また、初出場の高野成己さんは、今年7月の青年技能競技大会の東京予選にも初出場し大健闘。競技選手としてのこれからが楽しみな期待の新人です。

写真上＝昨年の大会で競技中の浅見さん

写真下＝カレッジ2年生 高野さん



補修の痕跡をチェックするカレッジ生

民家研究と建築スケッチ
1年生「川崎市立日本民家園」見学
9月25日（日曜）、第21期生（1年生）の民家研究と文化財建造物の建築スケッチ授業が川崎市立日本民家園で行われ、午前中は、古民家の移築作業の映像学習後、3グループに分かれて、園内の古民家の見どころを学習。細部の構造、しつらえの解説を聞きながら、急ぎ各民家を巡りました。午後は建築スケッチの演習を行いました。園内の古民家の全体と部分を各1枚以上、F6のスケッチブックに鉛筆で描くというのが課題です。夕方には講評会も行われました。



適切な助言で全員が上達

①「竹」
②新留有華乃、渡邊智奈美
③竹の縁台。流しそ
うめん。
④竹に挑戦した班は
今まで無いみたい
な

ので第一号として頑張
って良い作品を作
りたい。風流的な感
じ！
⑤竹が足りないこと
穴をきれいに彫るこ
とが出来に大きく関
わってくるので、そ
こが課題である。竹
募集中心。（慣れない
素材で苦労している
ようです。「竹の専
門家の方がおられ
ましたら、ぜひ見に
来て下さい」と話
して

3ヵ月間後、12月
24日（土）にはプレ
発表会が行われます。
卒業制作各グループ
の活動へ声援をお願
いいたします。■

カレッジポスターを掲示！

東京土建板橋支部 大谷口北分会

東京建築カレッジの母体、東京土建一般労組は「全36支部からカレッジ生を派遣しよう」と来春入学生の募集に取り組んでいます。



板橋支部
大谷口北分会
のように
分会センター
に学校のポ
スターを掲
示する動き
もあります。

カレッジのポスター掲示にご協力を！



カレッジのこ
とを知らない人
はたくさんいま
す。ぜひ第22期
生募集ポスター
の掲示にご協力
下さい。お気軽
にご連絡下さい。
電話03・5950・
1771へ。担当
西岡・吉川。